

第3回 総合教育会議  
(資料 1)

認定NPO法人侍学園スクオーラ・今人  
学校説明

# サムガクとは？

侍学園設立趣意 ※HPより抜粋

- 「学びや新しい自分との出会いを求める全ての人々の為の学校」
- 「教え育てる」のではなく、自ら探し、求め、そして生徒、スタッフが共に成長できる「**共育**」を目指す
- 様々な経験を通して、「**基本的な生きる力**」を身につけることが、サムガクの最大の目的となる

基本的な生きる力 = 卒業？

## 卒業の条件

- ① 経済的自立の可能性
- ② 精神的自立の可能性
- ③ 自己決定自己選択が出来る

# サムガクの支援

サムガクが実際に行なっていること。

「**学校**スタイルの支援」 + 「**寮**生活」



ライバルは  
みんな













三浦貴大トークライブ  
「僕と映画と俳優と」



平成29年度

第14回 今人祭













# カリキュラムマネジメント

いきる

衣

食

住

まなび

自分

他人

社会

あそび

遊び

寮生活の役割。

規則正しい**生活習慣**を手に入れ、  
**衣食住**の充実を図る。

||

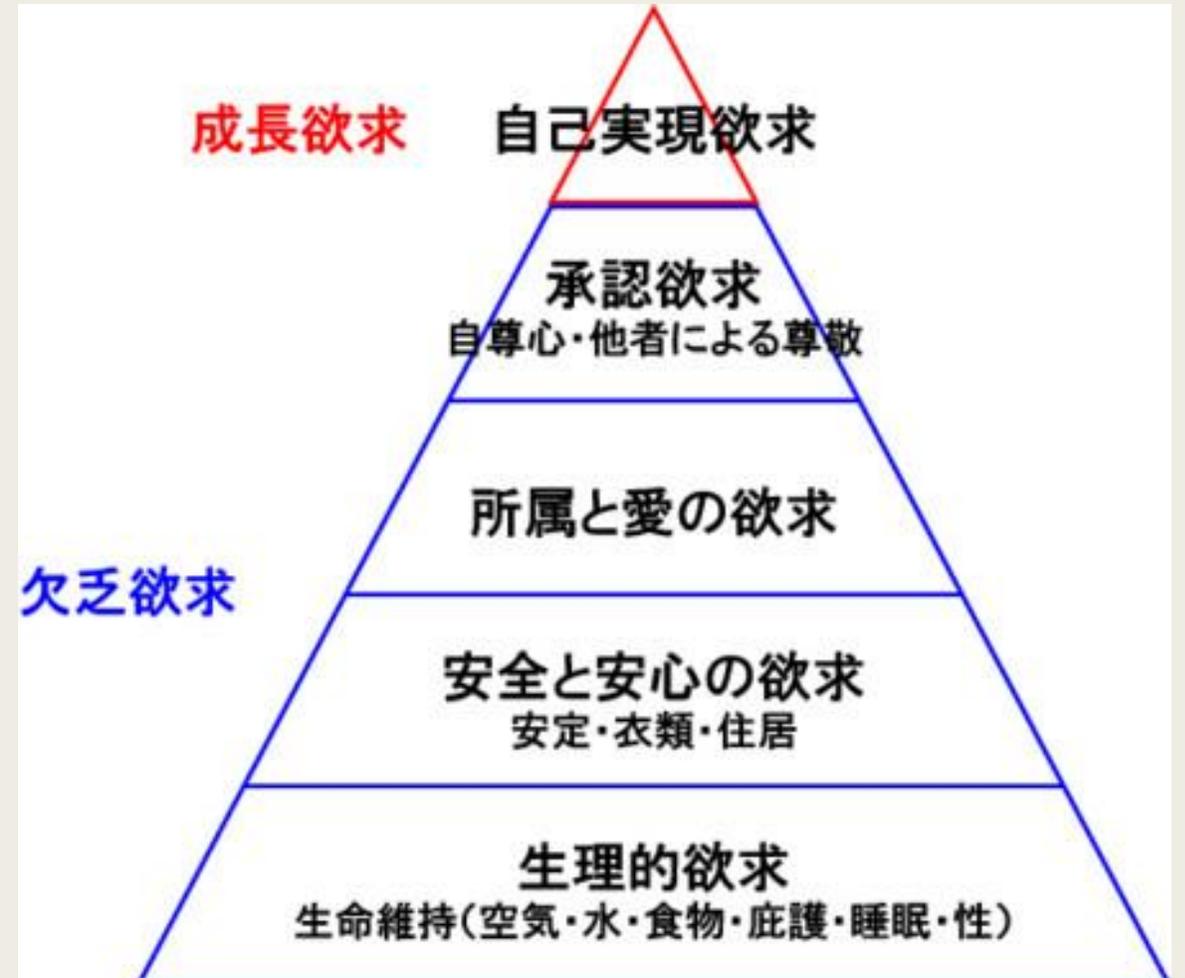
新しい**文化**形成

# 寮生活の役割。

欠乏欲求を満たすことで生まれる、

## 「成長欲求」

成長にはしっかりと  
した基盤造りが大切。



心構え。

根底に 「命の継続」 を。

中心に 「愛」 を。

# 現在の<sup>上田本校</sup>の生徒数

(2022.1.19現在)

**21名** (男子15名 女子6名)

**15歳から41歳**

# 侍学園沖縄校の取り組み 現場からの声 <居場所>

認定NPO法人 侍学園スクオーラ・今人 沖縄校

# 侍学園沖縄校



!!



(沖縄県 八重瀬町)

侍学園では、これまで様々な困難を抱えた全国の若者たちと多く出会い、社会へと送り出してきました。

6年前に沖縄に侍学園が立ち上げられました。それまで培ったノウハウやスキルを活かし、侍学園という法人の中でも独自のスタイルとして、困難を抱えた「子どもたち」への支援をはじめました。それは、「子どもと若者」双方の視点で社会課題と向き合っていくということだけではなく、困難を抱えた若者たちを創り出さないために始めた子どもたちへの支援です。

沖縄校では、現在、主として0歳から20歳代の児童生徒（子ども若者）約80名やそのご家族と向き合っています。

だから、子どもも通える学び舎へ!!

## ★沖縄スタイルの特徴

- ・ 個別から集団への移行に着眼した支援
- ・ 学校スタイル&学童スタイル
- ・ 通所&緊急宿泊対応
- ・ 地域と連携した支援形成
- ・ 0歳～39歳対象

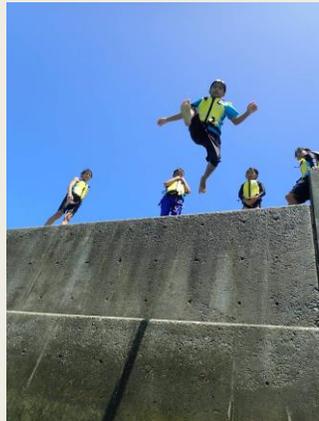
子ども時代に築かれてしまった...

恐怖・不安・格差  
不信・絶望・孤立

子ども時代からひきずる若者が抱える困難課題









なぜ**沖縄**で  
**子ども**支援なのか？

# 全国 7 人に 1 人 **沖縄 3 人に 1 人**

沖縄県が平成 27 年度に行った調査では、子供の貧困率が 29.9%と全国の 16.3%(当時)を大きく上回ったほか、経済的な困難が子供の成長や学業に深刻な影響を及ぼしている実態も明らかとなりました。

このような状況を踏まえ、沖縄県では平成 28 年 3 月に「沖縄県子どもの貧困対策計画」を策定し、子供のライフステージに沿った、切れ目のない総合的な支援に取り組んでいます。

また、内閣府においても、沖縄の子供を取り巻く厳しい状況を踏まえて、平成 28 年度から沖縄子供の貧困緊急対策事業として、沖縄県内市町村が子供の居場所づくりや子供の貧困対策支援員(以下、この手引きでは原則として「支援員」と表記する。)の配置等を行うための事業を行っています。

支援員は、子供の貧困に関する地域の現状を把握し、学校や関係機関との情報共有、子供を支援につなげるための調整等を実施する新たな専門職として、平成 29 年度現在で各市町村に 118 人が配置され、居場所が 162 箇所設置された。子供の貧困対策に関する最も重要な取組の一つとなっています。

**最新調査(沖縄県)、沖縄の貧困率は 25% → 4 人に 1 人**

# 沖縄ワースト

- ➡子どもの相対的貧困率(沖縄県29.9%/全国13.9%)47位
  - 一人あたりの県民所得(沖縄210万/全国306万円) ●年間完全失業率1位
  - 若年無業者率1位 ●非正規雇用率1位 ●正社員数47位 ●転職率1位
  - 年収1,000万以上世帯数47位 ●若年出産率1位 ●離婚率1位 ●DV保護命令既済件数1位 ●結婚件数1位 ●合計特殊出生率1位 ●子育て世代数1位
  - 子育て世帯年収47位 ●母子家庭等、1人親世帯の貧困率54.6%
- ➡15歳未満人口(こどもの数)1位 ●兄弟姉妹数1位 ●小学生数1位
  - 中学生数1位 ●待機児童数1位 ●不登校小学生数1位 ●小学生宿題実行率47位 ●小学生読書率47位 ●中学生部活動参加率47位 ●全国学力テスト中学生正答率47位(小学生46位) ●全国学力テスト(知識A:活用B)47位
  - 進学率(高校・大学)47位 ●センター試験志願率47位 ●センター試験浪人率(男・女・全体)1位 ●高校生就職内定率47位 ●卒業後の進路未決定率1位
  - 給食費滞納率1位 ●こどもの虫歯率1位
- ➡小学生地域行事参加率47位 ●小学生家庭内会話率47位
  - 中学生家庭内会話率47位
- ➡殺人事件被害者数1位 ●安全活動人口(25歳以上)47位
  - 精神科・心療内科医師数1位
- ➡生活保護率5位 ●修学援助率10位 ●高校中途退学率4位 ●高校不登校率2位

# 子ども居場所の取り組み 紹介



# 2019年度 沖縄子供の貧困緊急対策事業 『沖縄県拠点型子供の居場所運営事業』

## 支援対象

生活困窮者自立支援法で定める生活困窮者  
また学校教育法に基づく就学援助制度の対象者とその保護者

- 対象年齢 0歳～概ね18歳
- 定員平均15～20名/1日あたり：登録57名(2019.12)

未就学児8名 小19名 中18名 高校生年齢12名  
※最年少0歳4ヶ月、最年長19歳

# 支援内容

定期プログラム

## 食事提供・食育の実施



食事や調理体験を通して、健康の大切さや生産者への感謝の気持ちなどを学びコミュニケーションの向上を図ります。

## 学習支援

支援対象者の習熟度に応じた個別の学習支援を行います。



## 生活支援



日常生活を営むために必要な知識・技術を習得できるように支援を行います。

## キャリア形成支援

就労の必要性や自己実現の意義、社会との関わりなど支援対象者の職業観の醸成に取り組みます。



職業人講話



社会見学



ボランティア



体験学習

## 家庭への支援



支援対象者の状態改善に向けて、家庭に対して必要な社会資源につなげるなどの支援を行います。



随時受付  
電話・メール  
問い合わせ



予約対応  
面談・会議  
カンセリング



長岡+Guest

月1～2回  
スーパーバイズ・スタッフ研修等

## 支援内容②

### 定期プログラム

より良い選択肢と  
オーダーメイドな支援展開



1日単位  
緊急対応宿泊



施設外学習  
(自然体験・宿泊体験等)



専門インターネット面談  
(キャリアコンサルタント  
臨床心理士等)



グループワーク・レッスン  
(インターネット・授業)



不定期  
プログラム

自主プログラムも織り交ぜながら、よりそれぞれの自己実現をサポートしていきます。インターネットを活用した当法人所属の専門職（臨床心理士・キャリアコンサルタント等）とのネットカウンセリングや職業人講話を通じた自己啓発の他、沖縄の社会や文化自然に触れる体験を通して、それぞれの体験を増やし、経験を蓄積していくことで多くの学びを啓発していきます。

### 検討事項（自主プログラム）

#### ショートステイ（ジョブトレーニング）（長野県上田市）



本島内に居場所がない（周りの目が気になる。リスタートしたい）など住環境から一時的に離れ、短期（1ヶ月単位）での就労トレーニング・自己啓発を行うことで社会的自立を目指します。待学園が本来持ちうる就職率100%のトレーニングを経たスキルアップ効果と住環境を変えることでの意識変化や家庭環境からの自立を促します。（検討調整中）

**つなぐ先のない支援  
から  
つながる支援へ**

こども達が、これから生きていくのは地域社会！  
支援を必要とする子どもたちを地域社会から  
切り離すのではなく、地域社会へとつなげる  
ハブ&潤滑油になる！！



- こども達は、家庭を中心として地域の中に各々の所属をもっている。
- かかわりを切るのではなく一時的に回復を待って、再度地域へつなげ直しを図ることも重要な視点となる。
- 個々のノビシロを伸ばして、円滑な社会生活を営めるよう適切な支援機関へバトンをタッチしていく...  
(就労支援へ・学習支援へ・生活支援へ・福祉へ・医療へ等)